

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	運動広場維持管理事業	
根拠法令等	蒲郡市野外運動施設の設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	スポーツ・レクリエーション
------	------------------	-----	---------------

②事務事業の内容

対象（受益者）	運動好きな市民のために
手 段	運動施設を有効に活用することによって
想定する成果	健全なスポーツ環境づくりを図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
施設数	15ヶ所	15ヶ所	15ヶ所
地元管理委託費	1,008千円	988千円	938千円
地元管理数	15ヶ所	15ヶ所	15ヶ所
土地賃借料	13,347千円	13,882千円	13,912千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	運動広場の自主的管理割合 自主管理箇所/施設総数×100	運動広場1ヶ所当りの必要経費 事業費/施設数（15ヶ所）

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	100.0%
	① 実績	100.0%	100.0%	—
成果指標	計画	—	—	928
	② 実績	927	925	—
事業費	事業費	18,575	15,936	14,878
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	20,182	17,545	16,469
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	20,182	17,545	16,469

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	現在、全施設を地元で管理している。
経済効率性	2	2	投入された予算にほぼ見合った効果がでている。
事務効率性	2	2	契約のみで、実質は地元が執行している。
必要性	2	2	地元と密着していて、官民の役割はベターである。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	施設の維持管理を全て地元対応になっている。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	現在の事業の進め方で十分である。
------	---	---	------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度以降全ての施設管理を地元へ委託した。	

⑧今後改善すべき点

管理は地元になったが、活用方法について工夫すべきである。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	指定団体等手続事務事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	運動施設をよく利用する指定団体等のために
手段	使用料金の軽減を図ることにより
想定する成果	施設利用の利用回数増大を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延利用件数	3,381件	3,612件	3,700件
指定団体利用件数	672件	591件	650件
使用料軽減額	2,309千円	2,678千円	2,700千円

④成果指標

成果指標名	①	②
	指定団体稼働率	利用1件当りの使用料軽減額
成果指標の説明	指定団体年間利用件数/年間延利用件数×100	使用料軽減額/指定団体利用件数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	① 計画	—	—	17.6%
	① 実績	19.9%	16.4%	—
成果指標	② 計画	—	—	4,154円
	② 実績	3,436円	4,531円	—
事業費	事業費	4	4	4
	人件費	804	804	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	808	808	800
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	808	808	800

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	有料施設で比較すれば約40%の稼働率になる。
経済効率性	2	2	料金を半額にすることで、利用率が向上している。
事務効率性	2	2	予約件数が多く、対応する人員とほぼ見合っている。
必要性	3	3	安価な料金で施設の利用率の向上とスポーツ人口の増加を考慮すれば大いに必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	年々指定団体が増加している。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	予約手段（電話申請）の利便性向上のため、事務が多忙となるため、人件費を考慮して嘱託職員で対応すべきである。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
年20回以上の利用団体が指定団体であり、資格判定のため、以前は担当者が利用済みの許可書を整理して利用回数を出していたが、時間を費やすので利用団体から前年度の全ての利用許可の控えを提出させて登録をした。	

⑧今後改善すべき点

更新方法を検討したい。（2～3年更新）

⑨平成19年度予算に反映する項目

少ない職員で対応が苦しくなっているので、アルバイトなり嘱託職員の前算を計上したい。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	体育指導委員会活動事業	
根拠法令等	蒲郡体育指導委員に関する規則	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民のスポーツ・レクリエーション活動について
手段	体育指導委員27名が軽スポーツ広場事業等を行うことによって
想定する成果	健やかな身体と心の育成を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
参加者数	1,608	1,195	2,000
軽スポーツ広場開催日	34	20	40
開催種目	ユニホッケー、ディスクゴルフ、ダーツ、グラウンドゴルフ等 6種目		

④成果指標

成果指標名	①	②
	1 開催当たりの利用者数	1 公民館当たり年間平均開催数
成果指標の説明	年間延参加者数/年間延開催日	年間開催日/11公民館

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	80人
	① 実績	71人	75人	—
成果指標	計画	—	—	4.5回
	② 実績	4.25回	4.0回	—
事業費	事業費	2,403	2,088	2,110
	人件費	4,018	4,022	3,978
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	6,421	6,110	6,088
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,421	6,110	6,088

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	公民館単位で実施しているが、開催数が4回を僅かに上回る程度で少ない。
経済効率性	2	2	講師謝礼金から見れば、投入された予算にはほぼ見合っている。
事務効率性	2	2	二月に一度の体育指導委員会で、実施済みの反省と予定している計画の検討を議題としている。このことから投入された人員にはほぼ見合っている。
必要性	2	2	団塊世代の退職者や子供数の減少等を考慮すると、地域の健康維持のため必要である。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地域住民が健康増進を要望し、企画している。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	高齢者の増加と児童数の減少に伴い、体育指導委員の担う役割は大きい。
------	---	---	-----------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
定職に就いている人が多いので、年間スケジュールについて全員で検討し、極力体育指導委員活動に支障の無いように活動体制を整えた。	

⑧今後改善すべき点

地区によっては、体育指導委員が地区四役となっていて、体育指導委員活動に支障を与えている。行政として地区に干渉できないので、ひたすらお願いしていく。

⑨平成19年度予算に反映する項目

3期以上活躍された体育指導委員の制服は疲弊しているので新しい物を支給したい。市外出張は電車使用となる。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	レクリエーション協会活動事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象(受益者)	余暇時間を有効に活用したい蒲郡市民に
手段	レクリエーション協会事業を支援することにより
想定する成果	健全なる生活習慣の高揚を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
加盟3団体による12事業の参加者数	2,548人	1,361人	1,000人
団体員数	4団体 241人	3団体 155人	3団体 135人
総事業費	1,346千円	1,110千円	848千円
所属団体	蒲郡市民謡協会、蒲郡アウトドアクラブ、蒲郡社交ダンス協会		

④成果指標

成果指標名	①	②
レクリエーション事業補助率		—
成果指標の説明	補助金額/総事業費×100	—

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	60.0%
	① 実績	50.8%	61.6%	—
成果指標	計画	—	—	—
	② 実績	—	—	—
事業費	事業費	684	684	500
	人件費	3,214	3,217	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	3,898	3,901	3,682
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,898	3,901	3,682

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	余暇を利用する市民の要望をほぼ満たしている。
経済効率性	2	2	現役をリタイアした市民が多いなか、少ない予算でほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	市が関与しているが、月毎の理事会で自主的に事業を進めているので、投入された人員にほぼ見合っている。
必要性	2	2	指針についての助言等、市が実施するのが望ましい。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市広報、チラシ等を楽しみに待って、事業参加する市民は多い。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	平成17年度にレク・ダンスの脱退による影響で会員数が減少したので、新規会員の入会が必要。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
事業費の減少に伴い、経費の見直しを行った。	

⑧今後改善すべき点

会員数の減少を止めるために、事業内容の見直しが必要である。

⑨平成19年度予算に反映する項目

年々事業の運営費が苦しくなっているが、補助金の現状額を要望する。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	スポーツ少年団活動事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション
------------------	---------------

②事務事業の内容

対象（受益者）	小中学生に対して
手 段	スポーツ少年団活動を支援することによって
想定する成果	スポーツによる青少年の健全育成を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延参加者数	6, 7 1 5 人	7, 5 5 1 人	8, 0 0 0 人
年間活動回数	2 8 回	3 0 回	3 0 回
団員数	1, 0 0 5 人	9 5 2 人	1, 1 0 0 人
団数	2 0 団	1 9 団	1 9 団
種目（8種目）	少林寺拳法、剣道、柔道、軟式野球、空手、サッカー、卓球、ミニバス		

④成果指標

①

②

成果指標名	1 事業当たりの利用者数	1 団当たりの団員数
成果指標の説明	年間延参加者数/年間活動回数	年間団員数/スポーツ少年団数

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	2 6 7 人
	① 実績	2 4 0 人	2 5 2 人	—
成果指標	計画	—	—	5 8 人
	② 実績	5 1 人	5 0 人	—
事業費	事業費	511	444	316
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	2,118	2,053	1,907
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,118	2,053	1,907

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	児童数の減少にも拘わらず、団員数は比較的安定しており、成果指標値も順当である。
経済効率性	2	2	体育協会の指導者が半ボランティアで指導しており、投入された予算のわりに成果をあげている。
事務効率性	2	2	事務的には、運動施設の予約事務程度で、投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	運動施設の無料開放等により、スポーツ技術の底辺から資質向上を図るため、市のサポートが必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	児童の保護者が運動器具の設置等のバックアップとして参加している。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	次世代を担う青少年達に対して、スポーツを介して人間形成の手段として評価できる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の削減額
運動施設を効率的に使用するため、競技団体の年間スケジュールの調整を図った。	

⑧今後改善すべき点

運動施設の使用率において、一般市民の立場も考慮して使用回数を見直す必要がある。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象(受益者)	プロ野球に関心のある蒲郡市民のために
手段	ウエスタンリーグ公式戦を誘致開催することによって
想定する成果	スポーツの振興と意識啓発を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
入場者数	3,000人	3,000人	3,200人
入場料総額	952千円	941千円	865千円
開催委託料	1,169千円	1,169千円	1,228千円
開催負担金	600千円	550千円	550千円

④成果指標

成果指標名	①	②
	入場者率	入場者1人当りの経費
成果指標名の説明	入場者数/定員(4,700人)×100 内野席4,700人、外野席2,000人	事業費/入場者数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	68.1%(内野席)
	①実績	63.8%(内野席)	63.8%(内野席)	—
成果指標	計画	—	—	556円
	②実績	590円	573円	—
事業費	事業費	1,769	1,719	1,778
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	3,376	3,328	3,369
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,376	3,328	3,369

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年内野席に3,000人以上の人が入場し、事業の成果はかなり高い。
経済効率性	2	2	実行委員会で運営しているため、コストは低く、経済効率性は高い。
事務効率性	2	2	中日新聞社との打合せの他は、実行委員会の協力が大きいので、投入された人員にはほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	中日新聞社との交渉で、市が窓口になることは避けられない。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	市民による実行委員会が運営し、計画段階から市民参加がなされている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	蒲郡市民に、年に一度のプロ野球観戦の機会を提供していく。
------	---	---	------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
委託料の据え置きをし、平成17年度にウエスタン実行委員会への負担金の減額を実施した。	50千円

⑧今後改善すべき点

野球協会が中心となって、実行委員会を形成しているが、長年にわたるマンネリ化を改善したい。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	ママさんバレーボール推進連絡協議会活動事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	主に家事中心に生活する女性の交流のため
手 段	ママさんバレーボール推進協議会活動を支援することによって
想定する成果	運動不足の解消と基礎体力の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
参加者数	441人	450人	450人
チーム数	41チーム	46チーム	45チーム
大会数	大会1 交歓会3	大会1 交歓会3	大会1 交歓会3

④成果指標

	①	②
成果指標名	1チーム当たりの参加者数	—
成果指標の説明	年間延参加者数/チーム数	—

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	10.0人
	① 実績	10.7人	9.8人	—
成果指標	計画	—	—	—
	② 実績	—	—	—
事業費	事業費	49	28	21
	人件費	804	804	800
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	853	832	821
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	853	832	821

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	主婦が殆どを占めるが、家族の理解と協力により、ほぼ目標どおり進捗させている。
経済効率性	2	2	年々厳しくなる予算のなかで、リーダーがボランティアとなって指導しているので、予算に見合った効果が出ている。
事務効率性	2	2	予算の相談や競技場の予約のほかは、協議会の自主運用によるので投入された人員に見合った成果を上げている。
必要性	2	2	市が関与することにより、安定した活動ができる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	計画から実施まで市民による活動が行われている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	これまでも自主的に活動を行っており、現在の進め方でよいが、ニューリーダーを育てる必要がある。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
ゲームの他に、事前打ち合わせや反省会等の会議・集会を増やして組織力の増加を図った。	

⑧今後改善すべき点

競技に関するルールの習得や実践回数を増やし、質の向上を図るべきである。

⑨平成19年度予算に反映する項目

年々厳しい予算により、関係者の印象が良くないので、19年度予算については従来の予算を復活させたい。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	高齢者スポーツ推進連絡協議会活動事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	60歳以上の運動不足になりがちな高齢者に
手段	サークル活動を支援することにより
想定する成果	健康維持と交流の場を設ける。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
春季スポーツ大会参加者	286人	260人	295人
秋季スポーツ大会参加者	雨天中止	272人	300人
関係団体	蒲郡市民謡協会、蒲郡アウトドアクラブ、蒲郡社交ダンス協会		

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	春季高齢者スポーツ大会参加者数	秋季高齢者スポーツ大会参加者数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標	計画	—	—	—
	①実績	286人	260人	295人
成果指標	計画	—	—	300人
	②実績	—	272人	—
事業費	事業費	65	58	58
	人件費	804	804	796
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	869	862	854
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	869	862	854

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	春、秋2回の大会に各地区から300名近くの参加があつて、ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	大会には、マンネリが懸念されるが、長年培ってきたデータにより、予算に見合った効果を上げている。
事務効率性	2	2	市は、必要な資材等の準備をすれば良く、投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	市が準備をし、連絡協議会が大会の実施をしているので、官民の役割は適切である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	市内12地区の理事により、参加申込書を配布する等、自主的に運営している。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	家屋に閉じこもりがちな高齢者を、スポーツという手段によって、屋外へ導きだし、健康の維持を図るが事業の進め方に改善が必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
グラウンドゴルフ等の個人種目を開催することによって、気楽に参加できるようにした。	

⑧今後改善すべき点

大会を通じて、各競技団体との交流を図り、競技回数増加を図るべきである。

⑨平成19年度予算に反映する項目

新規企画に相当する予算措置をしたい。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】